

機密メモ

シンガポール・香港とのハブ戦略共有に際し、米国側の利益回避へのシナリオ
(香港)

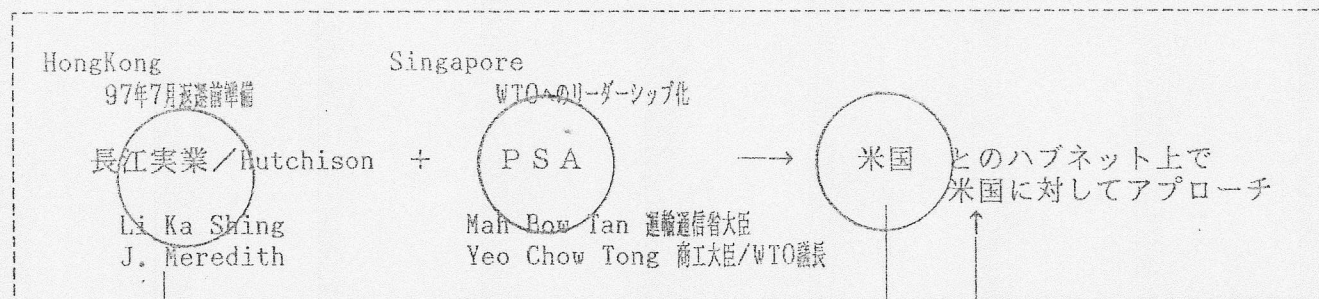
製作 99.3.24.
Super studio inc.

①

94年以降
日本の港湾に係る
共同 F/S を予定

▽

95年より
WTOをはさみ、
外圧による外資開放を
水面下にて調整



97年3月現在、
Hutchisonが実務レベルでの
交渉をアプローチしてきた。

日本全体への圧力

新提案

努力・検討経過を伝え、
対立を回避、日本側主導へ。

(案) 日本側より、
“Hub Business Network” を前面に出して、

関空 ← → 神戸港 間で、

一部の港湾（利権固定の少ない）での、外資オペレーション参入検討を提案化。
(=Hutchison+P S Aとの共同 F/S)

条件：

香港でのトランジット・コンテナ、Singapore での北東アジア向けコンテナ
(現在はKorea, Taiwanへ) を、新規需要として日本へ向かわせる。

Hutchison、P S Aより、日港協へ提示。

※ 泉南臨空への好影響を考え、
大阪府、大阪市の港湾 数ヶ所を対象化。
後背地検討： 二色浜→泉南臨空
※ 土地コスト上の好対象
Shanghai Port では、5バース×3ヶ所
(約80ha)